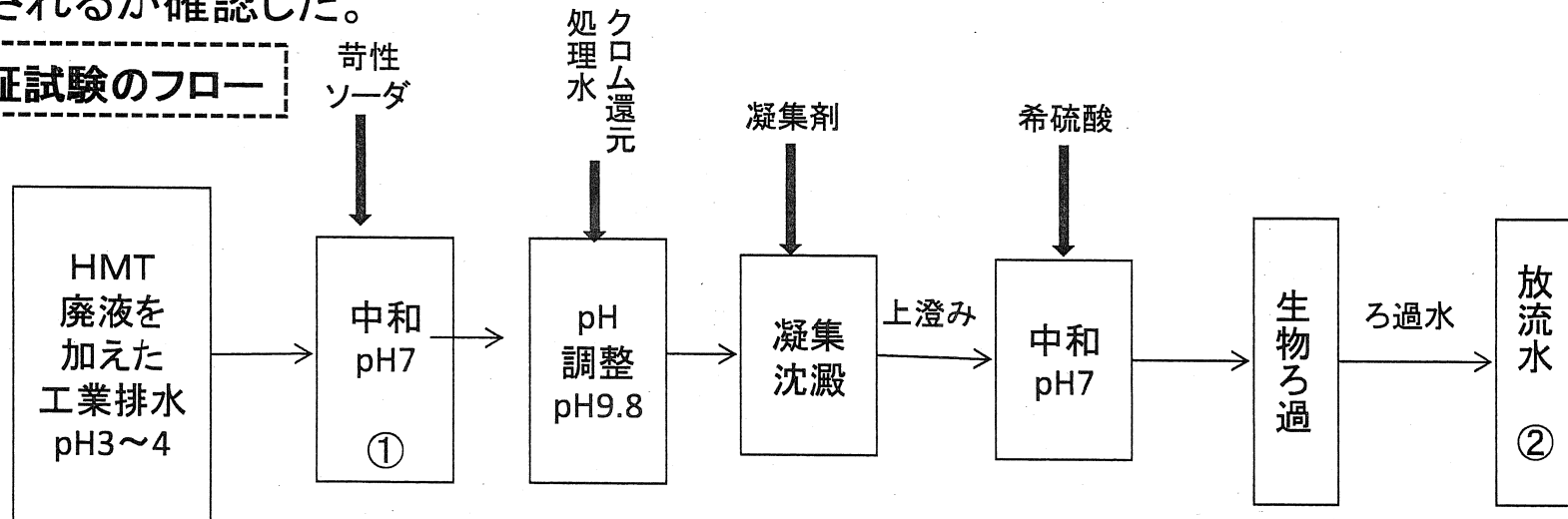


① <環境科学国際センターの調査結果>

実験室で高崎金属工業(株)と同じ処理工程を再現して、HMTがどの程度分解されるか確認した。

実証試験のフロー



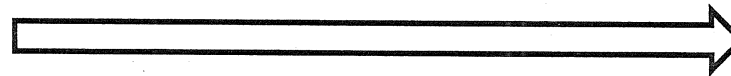
処理前排水①の

全窒素の量を100
(実測1.5 g/L)

HMTの量を100
(実測1.7 g/L)

とすると、

全窒素とHMTの分解



全工程にかかる時間は、7~8時間

処理後の放流水②の

全窒素の量は83
(実測1.0 g/L)

HMTの量は60
(実測0.77 g/L)

に減少

HMTは4割程度分解 全窒素は2割程度除去

② <DOWAハイテック(株)が処理を委託した廃液中のHMTの量>

○1g のホルムアルデヒドが生成するため必要なHMTの量は 約0.78g (A)

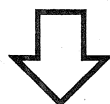
○廃液中のホルムアルデヒド濃度(廃液に塩素添加) 370g/L (B)

○推定される廃液中のHMT濃度 288g/L (C)=(A)×(B)

○DOWAハイテックが処理を委託したHMT廃液の量

高崎金属工業(株) 47.29トン ≒ 37.66m³ (D)

A社 110.08トン ≒ 87.68m³ (E)



DOWAハイテックが処理を委託した廃液中のHMT推定量

高崎金属工業(株) 約 10.8トン (C)×(D)／1000

A社 約 25.2トン (C)×(E)／1000